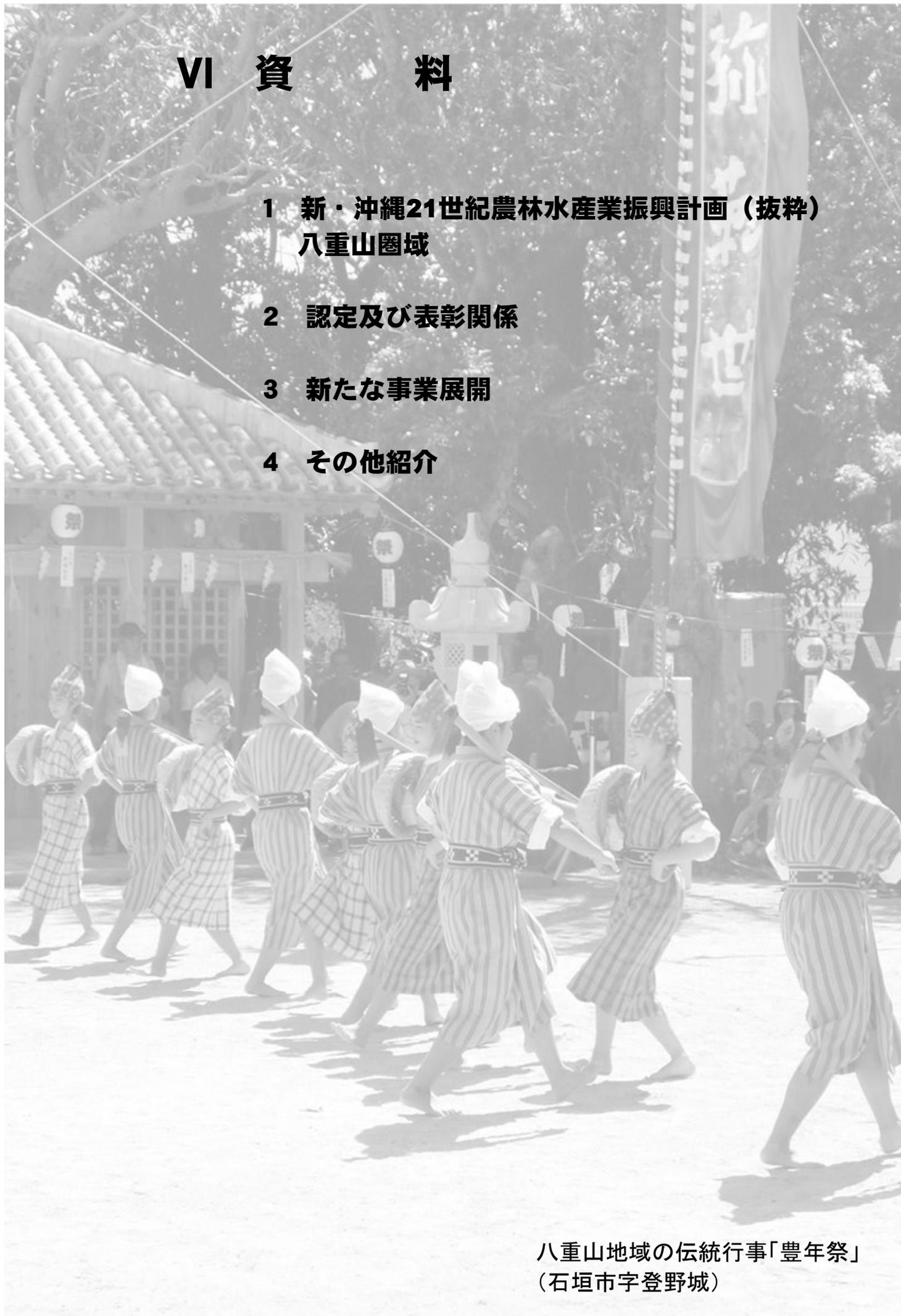


VI 資 料

- 1 新・沖縄21世紀農林水産業振興計画（抜粋）
八重山圏域
- 2 認定及び表彰関係
- 3 新たな事業展開
- 4 その他紹介



八重山地域の伝統行事「豊年祭」
(石垣市字登野城)

VI 資料

1 新・沖縄21世紀農林水産業振興計画(抜粋)八重山圏域

(1) 農林水産業の特徴

八重山圏域の農業について、令和2年における県全体に占める総農家数の割合が6%、耕地面積の割合が21%であり、さとうきび、水稻、オクラ、かぼちゃ等の野菜、パインアップル、マンゴー等の果樹、ヘリコニア、レッドジンジャー等の熱帯花き類、かんしょ、薬用作物等の生産、肉用牛を主とする畜産が行われている。

農業の品目別拠点産地については、かぼちゃ、オクラ、パインアップル(生食用)、ヘリコニア、レッドジンジャー、薬用作物(ボタンボウフウ)、肉用牛の11産地が拠点産地として認定されており、生産振興に取り組んでいる。

本圏域では、国営かんがい排水事業石垣島地区が着工し、既存水源(5ダム)を総合運用することで農業用水の再編を行い、新たに石垣島北部及び西部の農地への農業用水の確保をはじめ、農業用ダムを活用したかんがい施設や区画整理及び農地防風施設等各種の生産基盤の整備が展開されている。

本圏域の森林面積は約3万7千haと県全体の約35%となっており、リュウキュウマツなどの森林資源が充実している。また、適切な森林整備による防風・防潮や木材生産などの多面的な機能の発揮が期待されている。

水産業については、一本釣り漁業、潜水器漁業、パヤオ漁業、マグロはえ縄漁業等が行われており、モズクやハタ類等の養殖も生産を伸ばしている。

また、自然に恵まれ、グリーン・ツーリズム、森林ツーリズム、ブルー・ツーリズムなどの体験・滞在型観光による地域活性化が期待される地域である。

項目	数量	県対比(%)	備考
総農家数	899戸	6.1	2020年農林業センサス (令和2年)
販売農家数	838戸	7.9	
主業農家数	332戸	9.2	
基幹的農業従事者数	994人	7.5	
耕地面積	7,771ha	21.0	耕地面積調査 (令和2年)
田	468ha	57.3	
畑	7,296ha	20.2	
林野面積	41,787ha	36.1	2020年農林業センサス (令和2年)
漁業経営体数	267経営体	10.1	2018年漁業センサス (平成30年)

(2) 振興方向

ア 農業

農業については、さとうきび、パインアップル、水稻、かんしょの生産振興を図るとともに、かぼちゃ、オクラ、ゴーヤー等の野菜、レッドジンジャーやヘリコニア等の花き、マンゴー等の果樹の振興を推進する。また、畜産、野菜、花き、果樹等の農林水産物のブランド化に取り組むとともに、環境への負荷低減を図るなど自然環境の保全と産業振興が両立する地域を形成する。さらに、八重山圏域のさとうきび農家の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援を行うとともに、含蜜糖生産については、黒糖ブランドの確立、販路開拓等による需要拡大を図る。また、かんがい施設や区画整理等の生産基盤の整備を推進するとともに、既設施設の再編・更新を図り、農業用水の有効活用等を促進する。あわせて、台風等の気象災害から農作物被害を防ぐための農業施設の整備や防風林整備等を図る。

本圏域における赤土等流出量は県全体の4分の1を占めており、特に農地からの流出が95%を占めていることから、農地を重点的に、新たな取組を含め総合的な対策を推進する。

畜産については、子牛の拠点産地化、肥育牛のブランド化の推進、放牧地高度利用の推進等により、供給基地としての産地形成を推進するとともに、畜産の環境対策や飼料自給率の向上に努める。また、特定家畜伝染病の侵入及びまん延防止のため、関係機関連携による防疫演習や防疫資材の備蓄など危機管理体制の強化を推進する。

新規就農者の育成については、市町村等関係機関と情報共有しつつ、学習機会の提供や経営・技術指導等により支援する。農林水産業を取り巻く研究課題については、生産現場や普及指導機関等との連携を図り、課題解決と迅速な普及を推進する。

また、農山漁村地域において、豊かな自然環境や独自の伝統文化、パインアップル等の地域農産物を活用したグリーン・ツーリズム等による交流・体験の推進、滞在拠点の形成や観光産業との連携強化、農林水産業の多面的機能の維持・発揮を図る。

さらに、地域特産物の出荷コストの負担軽減等による域外出荷の拡大を図る。

(ア) さとうきび

生産性及び品質を向上させるために、優良品種の増殖・普及や適期栽培管理、株出栽培体系の推進、有機物の施用や緑肥作物の栽培、防風・防潮林の普及啓発等を図るとともに、肉用牛との複合化や葉たばこ・野菜等との輪作体系を推進していく。

また、さとうきび経営安定対策に対応した担い手を育成するため、農地所有適格法人、農作業の受託組織等生産組織を育成・強化するとともに、「さとうきび増産計画」等に基づき、生産者をはじめ、関係者が一体となった増産対策により、生産の増大に向け取り組む。

さらに、製糖工場の安定操業のため、長雨による原料確保等の対策に取り組む。

(イ) 野菜

定時・定量・定品質の安定生産を図ることを基本に、台風等の気象災害に強い栽培施設や防風・防虫等ネット栽培施設、農業用機械の導入を促進し、かぼちゃ、オクラ、ゴーヤー、さやいんげん等の安定生産に努めるとともに、土づくり、防風対策、販売対策の強化により生産拡大を図り、拠点産地の形成・育成を推進する。

また、農業団体等と連携し、流通・販売体制の強化を図る。

(ウ) パインアップル

パインアップル栽培に適した酸性の国頭マーヅ土壤の地域では、生食用品種を中心に生産が行われおり、観光産業へも大きく貢献している。

今後とも生食用優良品種の導入及び開花処理技術の組合せによる出荷期間の拡大、農業用機械等の導入等により生産性及び商品価値の向上を図るとともに、拠点産地協議会等の育成・強化を図る。

また、農業団体等と連携し、流通・販売体制の強化を図る。

(エ) 熱帯果樹

マンゴーについては、優良品種の導入・普及、栽培技術の向上、気候変動等に対応したハウスの導入などを図る。観光産業へも大きく貢献しているマンゴー、パパイヤ、パッションフルーツ等の生産性及び品質向上を目指し、拠点産地協議会等の育成・強化に努める。

また、農業団体等と連携し、流通・販売体制の強化を図る。

(オ) 花き

台風等の気象災害に強い栽培施設等の整備、新技術の普及、栽培技術の高位平準化を推進し、レッドジンジャー、ヘリコニア等熱帯花き類の拠点産地として、周年安定出荷体制の確立、ブランド化の推進に努めるとともに、切り葉等の生産拡大を図り、流通・販売対策の強化を推進する。

(カ) 水稲

栽培技術及び病虫害防除技術の向上等により安定的な生産を図る。さらに、消費者ニーズに対応して環境に配慮した米づくりを推進するとともに、生産コストの低減を図り、所得の向上に努める。

(キ) 葉たばこ

生産性及び品質の向上や作業の省力化に努め、安定的な生産を図る。

(ク) かんしょ

優良品種の普及と病虫害の防除対策を強化し、生産性及び品質の向上を図り、拠点産地の体制強化・育成に努めるとともに、農業団体等と連携し、流通・販売体制の強化を推進する。

(ケ) 畜産

肉用牛については、ブランド化の推進、自給飼料基盤の整備、優良種畜の導入・育成、放牧地高度利用の推進及び飼養衛生管理技術の改善等により、供給基地としての産地形成を推進する。さらに、生産基盤強化のため畜舎の整備等を行う。

また、畜産の環境対策と地域資源の有効利用を図るため家畜排せつ物処理施設の整備を推進するとともに、耕畜連携による資源循環型農業を促進する。あわせて、地力の維持増進を図り、飼料自給率の向上に努める。

イ 森林・林業

森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、保安林の適切な管理や治山施設及び防風・防潮林の整備、並びに森林整備事業を推進する。

また、リュウキュウマツなどの森林資源の活用を進めるとともに、森林の利用と保全の調和を図りつつ、森林環境教育等の多様な利活用を図る。

さらに、森林・林業に精通したガイドの養成等を図り、森林ツーリズムを推進する。

(7) 林産物

リュウキュウマツ等の計画的な生産及び収穫伐採体制を確立するため、効率的な伐採技術の確立、及び流通・販売体制を強化する。

ウ 水産業

水産業については、保護区の設定等によるマチ類、フェフキダイ類、ハタ類等の近海魚介類の資源管理に努めるとともに、モズクやハタ類等のつくり育てる漁業の推進によるブランド化を図る。

また、流通加工施設等の整備により流通機能の強化を図るとともに、漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新を推進する。

さらに、良好な漁場環境の保全及び漁業秩序の維持を図るとともに、尖閣諸島周辺水域、日台漁業取決め水域及びその他広域な周辺水域において、漁業者の安全操業体制の確保に取り組む。

(7) 海面漁業

持続的な生産活動が維持されるよう、研究機関と連携し、保護区設定等によるマチ類、フェフキダイ類、ハタ類等の資源管理を推進する。また、マグロ類やソデイカ、シャコガイ類等の生産拡大を図るため、流通・販売対策の取組を支援する。さらに、海洋保護区の設定とブルー・ツーリズムとの連携による新たな海洋・観光・水産資源の創出に向けた取組を推進する。

(イ) 海面養殖業

登野城魚類養殖場を拠点とするハタ類の魚類養殖やクルマエビ、モズク、シャコガイ類等の生産拡大を図るため、漁業者に対する技術指導や魚病防疫体制を整備するとともに、流通の機能強化を図る。

エ 周辺離島

竹富町及び与那国町の含蜜糖生産については、黒糖ブランドの確立、販路開拓等による需要拡大を図る。

西表島においては、さとうきび、パインアップル、熱帯果樹、かぼちゃ、水稻等を中心に生産の振興を図るとともに、肉用牛との経営の複合化を促進する。また、波照間島では、さとうきびを中心に肉用牛、モチキビ等を振興するとともに、小浜島では、さとうきびを中心に肉用牛等、黒島では、肉用牛の振興を図る。

与那国町については、さとうきび、水稻、肉用牛、薬用作物の生産を振興し、経営の複合化を促進する。

(重点振興品目)

【耕 種】	さとうきび、水稻、葉たばこ、かぼちゃ、オクラ、ゴーヤー、さやいんげん、パインアップル（生食用）、マンゴー、レットジンジャー、ヘリコニア、切り葉、かんしょ、薬用作物類
【畜 産】	肉用牛
【林 業】	木材
【水産業】	クルマエビ、モズク、マグロ類、カジキ類、ソデイカ、ヤイトハタ、シャコガイ類、マチ類、フェフキダイ類、スジアラ、シロクラベラ、ハタ類

資料：新・沖縄21世紀農林水産業振興計画（令和4年12月策定）より抜粋

2 認定及び表彰関係

(1) 「おきなわ食材の店」登録制度

沖縄県では、沖縄県産食材を積極的に活用した料理の提供を通して、県民のみなさんや観光客のみなさんに県産食材の魅力を発信していただける県内飲食店を「おきなわ食材の店」として登録しています。

八重山管内では、令和6年1月までに計44店舗が登録されています。

No.	店名	住所
1	美味食彩花HANA	石垣市大浜466-15 2F
2	八重山酒家 楽	石垣市大浜116-2
3	海人居酒屋 源 平得店	石垣市平得175-3
4	The BREAKFAST HOTEL PORTO石垣島	石垣市登野城86 リゾーツ琉球株式会社
5	さよこの店	石垣市登野城170番地
6	海鮮館 どてっぺん	石垣市八島町2-4
7	日本料理郷土料理ひるぎ	石垣市美崎町4-9
8	やいま家庭料理さつき	石垣市美崎町7-16
9	海人居酒屋 なつや	石垣市美崎町10-17
10	石垣牛と海鮮の店 こてっぺん	石垣市美崎町12-7
11	BAR NOBU	石垣市美崎町12-8 TOMOビル1F
12	海人居酒屋 源 美崎店	石垣市美崎町16-10
13	郷土料理 琉球の爺(おやし)	石垣市浜崎町2-1-7
14	炭火烧肉 たけさん亭	石垣市浜崎町2-2-4
15	海人割烹 げん	石垣市新栄町25-5
16	石垣牛焼肉専門店 いしなぎ屋	石垣市大川43番地
17	漁師の居酒屋 一魚一会(いちぎょいちえ)	石垣市大川216 ピュアネスイシダ1F
18	石垣牛専門 焼肉金城 石垣島大川店	石垣市大川278
19	Hau tree gelato (ハウ トゥリー ジェラート)	石垣市大川281
20	ゆくい処 海人めし	石垣市大川286 源ビル1F
21	海人居酒屋 源 総本店	石垣市大川286 源ビル2F
22	島料理居酒屋 あだん亭	石垣市大川430 東1F
23	焼肉中華 はるさー	石垣市大川559 アートホテル石垣島
24	うさぎや 石垣本店	石垣市石垣1-1
25	沖縄居酒屋 石垣島	石垣市石垣14-3
26	石垣牛と海鮮の店 てっぺん	石垣市石垣15-4 ワコーレKAMIJI 1F
27	石垣島ベーカリー&スペインレストラン ハイビスキャット	石垣市石垣257-3
28	Shiraho 家 Café (しらほ・いえカフェ)	石垣市白保42-3
29	和琉ダイニング みふね	石垣市新川1129-2
30	かぶさ食堂	石垣市新川418-1 コンテナハウスB
31	石垣島ミルミル本舗	石垣市新川1583-74
32	はりはりほうす	石垣市新川1627
33	海人居酒屋 源丸	石垣市新川2373-13
34	マリティーム	石垣市新川2459-1 ホテルロイヤルマリンパレス石垣島
35	旬家 ばんちゃん	石垣市白保13-1
36	石垣島ミルミル本舗 石垣空港店	石垣市白保1960-104-1 (石垣空港内)
37	ガーデンパナ	石垣市崎枝239-14
38	はいむるぶし んちぐすいブッフェ	竹富町字小浜2930 ホテルはいむるぶし
39	農家民宿 マナ	竹富町古見202
40	ペンション星の砂	竹富町字上原289-1
41	西表シーサイドカフェ	竹富町字上原546-3
42	ピアガーデン 国境 (ハテ)	与那国町 字与那国22-4 3F
new!	43 雪塩ステーキ石垣-鉄板焼き-	石垣市美崎町13番地
new!	44 MUSUHI (ムスビ)	竹富町字小浜島内 (キッチンカーの為固定住所無し)

「おきなわ食材の店」登録基準

- 1 年間を通して、提供しているメニューの半数以上が地産地消メニューであること。
- 2 地産地消メニューとは、県産食材を半数以上使用したメニューであること。
- 3 使用している県産食材について、積極的に情報提供を行っていること。



(2) 第46回農業機械士全国大会沖縄大会で全国功労者表彰を受賞

令和5年7月14日に第46回農業機械士全国大会が那覇市で開催され、仲松益實氏（石垣市川平）が八重山地域から初となる全国農業機械士協議会功労者表彰を受賞した。

仲松氏は、昭和63年に沖縄県農業機械士の認定を受け、同年に八重山地区農業機械士協議会へ加入し、同協議会の役員を8年、沖縄県農業機械士協議会の役員を6年間務めるなど29年間に渡り活躍された。平成28年に地区協議会を勇退後も石垣市から農業用機械の修繕を依頼される等、地域からの信頼も厚い。また、平成4年から平成24年までハーベスターのオペレーターとして地域のさとうきび機械収穫作業を請け負う等、長年にわたるこれまでの功績が高く評価され今回の表彰に至った。



仲松益實氏(右)

(3) 第47回沖縄県さとうきび競作会表彰

第47回沖縄県さとうきび競作会において、八重山郡内からは3農家が表彰された。

農家の部で奨励農家となった大嶺ふじ子氏（石垣市大浜）は日頃からほ場へ足を運び、適期肥培管理や除草作業の徹底により夏植えで甘蔗糖重量1,742kg/10a、蔗茎重量12,180kg/10aを記録し、沖縄県糖業振興協会理事長賞を受賞した。

多量生産の部で農家の部で沖縄県第1位を受賞した伊志嶺敏彦氏（石垣市名蔵）は、適期の作業を機械化することで大規模な経営面積の管理を可能にしている。また苗ほ場を設置し、若苗利用と計画的な改植を行い発芽率の向上と欠株の減少につなげるなど、単収向上に意欲的に取り組んでおり約625 tを生産し県第1位に輝いた。

特別優良事例の部で受賞した松竹哲男氏（石垣市大浜）は、自身で目標に掲げた「10年株で単収10 t」を達成するなど、常に向上心を持って真摯にさとうきび栽培に向き合う姿勢は地域農家の模範となっており、また長年にわたって地域農業を下支えしてきた功績が認められ、沖縄県糖業振興協会理事長賞を受賞した。



大嶺ふじ子氏(前列右から3番目)、伊志嶺敏彦氏(前列左から3番目)、松竹哲男氏(後列右から3番目)

(4) 令和5年度園芸拠点産地優良生産農家表彰を受賞

竹富町（西表島）は平成26年3月にカボチャの拠点産地に認定され、今年度で10周年を迎えます。本表彰は、生産技術や経営面の創意工夫で高い実績を挙げ、拠点産地の模範となる生産者を表彰するもので、今回受賞された山城富正氏は、さとうきび11ha、カボチャ5ha、水稲3ha、パインアップル1haを栽培する西表島を代表する大規模農家であり、カボチャの出荷量は西表島全体の4～5割を占めています。栽培面では、ほ場準備を早めに行い、優先すべき作業をこまめに判断し、防除用ドローンを活用するなどして、大面積ながらタイミングを逃さない管理に努め、大玉・完熟にこだわったカボチャ作りを行っています。またJA西表島カボチャ生産部会の部会長を歴任し、関係機関や農家の相談役を担い、誠実な人柄で産地をまとめてこられました。特に品種を「こふき」に統一する、全ほ場で農家立ち会いのもと試し切り（熟度確認）を行って収穫日を決めるなど、品質管理のための産地方針の決定は、市場と産地の強い信頼関係の礎となりました。また部会員の高齢化が進む中、新しい圃場を開墾して栽培面積を増やし、自らの農場で雇用した青年を就農に導くなど、現在も中心となって産地の維持・発展を牽引されています。



山城富正氏



山城富正氏と部会員・関係機関の皆さん

令和5年度
沖縄県園芸拠点産地優良生産農家表彰受賞

やましろとみまさ
山城富正氏（竹富町西表島）
所属部会：JAおきなわ西表島カボチャ生産部会
沖縄県指導農家士（H16認定）
受賞品目：カボチャ
栽培年数：24年
品種：こふき（ナント種苗）
面積（R2-4平均）：420a ※RSは500a
反収（R2-4平均）：903kg/10a
表彰実績：沖縄県野菜品評会銅賞（R1）

経営概況
山城氏の直近のかぼちゃ栽培面積は約5haで、面積、出荷量ともに西表島全体の4～5割を占めています。またさとうきびも11haを栽培し、県の競作会において多量生産部門1～2位や春播部門の表彰歴があります。地にも水稲3ha、パインアップル1haを栽培するなど、西表島を代表する大規模農家です。

栽培の工夫
土作り、防風垣、育苗、マルチ、敷草、整枝、施肥、灌水、防除等の基本的な管理を徹底しつつ、10月上旬～12月中旬までに10圃場の作付けを行うため、計画的な圃場準備、敷草や薬剤散布のしやすい畦づくり、優先すべき作業のこまめな判断、ドローンの活用等により、タイミングを逃さない栽培管理に努めています。

産地協議会での活動状況
H26年3月に竹富町がかぼちゃ拠点産地に認定され、今年で10周年を迎えます。認定の翌年から産地独自の出荷箱を作り「西表島産」としての販売を始め、安定した品質と継続的な情報交換により市場の信頼を獲得してきました。山城氏は、拠点産地認定前から昨年度まで10年以上にわたり部会長を歴任し、関係機関との調整や他農家の相談役を務め、誠実な人柄で産地をまとめてこられました。また品種を「こふき」に統一する、全ての圃場で農家立ち会いのもと試し切りを行うなど、品質管理のための重要な産地方針の決定に関わってきました。更に、地力の低い圃場へのピーチコーラルの施用推進や、新しい圃場を積極的に開墾して産地の栽培面積や出荷量の拡大に努め、また、自らの農場で雇用した県外出身の若手農家を移住・就農に導くなど、中心となって産地の維持・発展を牽引されています。

表彰内容のポスター

(5) 「おきなわ花と食のフェスティバル2024」関係表彰

令和6年1月20～21日、奥武山公園にて「おきなわ花と食のフェスティバル」が開催されました。このうち「第31回野菜品評会」には、石垣市と竹富町からゴーヤー5点、オクラ1点、さやいんげん1点、かぼちゃ1点が出品され、石垣市の東内原瑠美子氏が、オクラ（品種：フィンガーファイブ）で銀賞を受賞されました。オクラは高温性作物で、この時期に出品すること自体が極めて難しいのですが、東内原氏のオクラは全てのネットで品質が揃い、八重山の早出し産地としての実力を十分にPRすることができました。



オクラ（フィンガーファイブ）



東内原瑠美子氏



ハウスでの栽培状況

(6) 九州・沖縄地区青年農業者会議 プロジェクト発表優秀賞受賞

7月20～21日に令和5年度九州・沖縄地区青年農業者会議が大分県日田市にて開催され、石垣島ファーマーズクラブの仲里憲治氏が沖縄県代表としてプロジェクト発表し、園芸・特産作物部門1位、全16課題中でも2位の優秀賞を獲得した。

仲里氏は「人もオクラも根っこが大事～苗移植でグッバイ立ち枯れ～」と題して発表。オクラの立ち枯れという地域課題への取り組み、ポット育苗や根鉢保護移植等による対策の検討、さらに作業性改善等の効率化まで取り組んだ点や、スライドの分かりやすさが評価された。

仲里氏は3月に東京で開催される全国青年農業者会議への出場が確定し「全国大会でも良い成績を修めたい」と抱負を語っている。



仲里憲治氏の舞台発表



八重山地区農業青年クラブで記念撮影

(7) 令和5年度農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞受賞

令和5年度農林水産祭むらづくり部門において、北海道・沖縄ブロックから推薦した「大浜公民館」が農林水産大臣賞を受賞し、11月28日に沖縄総合事務局にて農林水産大臣賞伝達式が行われた。

大浜公民館は集落活動・運営の中心を担っており、独自の産業共進会開催による農家の営農意欲向上、集落内での新規就農者の誕生や家族経営協定による女性農業者の参画など農業振興に寄与している。また、畑地かんがい施設等の農業基盤整備も進んでおり、サトウキビに加え高収益作物の栽培も盛んである。

さらに、豊年祭や大浜アカハチ祭り、イタツキバラなどの伝統行事へ、子供からお年寄りまで幅広く参加しており、世代交流や地域住民の結束の高さが評価され、このたび受賞することとなった。



大浜公民館長 波照間 盛一氏(前列右から2番目)

(8) 令和5年度第35回JA石垣牛肥育部会枝肉共励会 JA八重山肥育センターが最優秀賞受賞

令和5年4月21日に、八重山食肉センターにて第35回JA石垣牛肥育部会枝肉共励会が開催され、JAおきなわ八重山肥育センターが最優秀賞を受賞した。当受賞枝肉は、脂肪交雑、枝肉重量、ロース芯面積、歩留基準値、脂肪の質に優れた枝肉と評価され、枝肉単価3,700円で取引された。全体的な講評としては、A-5等級率が95%、平均枝重495.3kg、平均BMSNo.が9.9と非常にレベルの高い共励会であった。

褒賞	生産者	性別	血統			出荷月齢	格付	枝肉重量	ロース芯	バラ厚	皮下脂肪	歩留基準	BMS	MUFA
			父	母の父	祖母の父									
最優秀賞	JAおきなわ八重山肥育センター	去	福之姫	金幸	安糸福	31	A5	556.0	81	8.0	2.5	76.2	12	61.6
優秀賞	ヤマ・フリーター・ランチ(名蔵)	去	若百合	秀幸福	華春福	30	A5	569.5	79	9.8	4.1	75.4	12	57.0
優良賞	(有)南川牧場	去	安亀忠	福栄	北国7の8	32	A5	569.5	80	78.0	3.2	75.0	12	59.5
脂肪質賞	JAおきなわ八重山肥育センター	去	幸忠栄	美津照重	百合茂	31	A5	558.0	77	8.2	2.4	75.9	11	61.9



(9) 令和5年度第36回JA石垣牛肥育部会枝肉共励会 先島ファームが最優秀賞受賞

令和5年12月1日に、八重山食肉センターにて第37回JA石垣牛肥育部会枝肉共励会が開催され、先島ファームが最優秀賞を受賞した。当受賞枝肉は、ロース芯の脂肪交雑が細かく入り、モモ抜けが素晴らしく雌ながらも枝肉重量が520kgと重量の面でも高く評価され、枝肉単価3,400円で取引された。全体的な講評としては脂肪交雑10以上の出現率が73%と素晴らしく、ロース芯・バラ厚ともに迫力のある枝肉が散見された。肉質は全般に光沢がよく、見た目がおいしそうに見える枝肉が多く見受けられた。

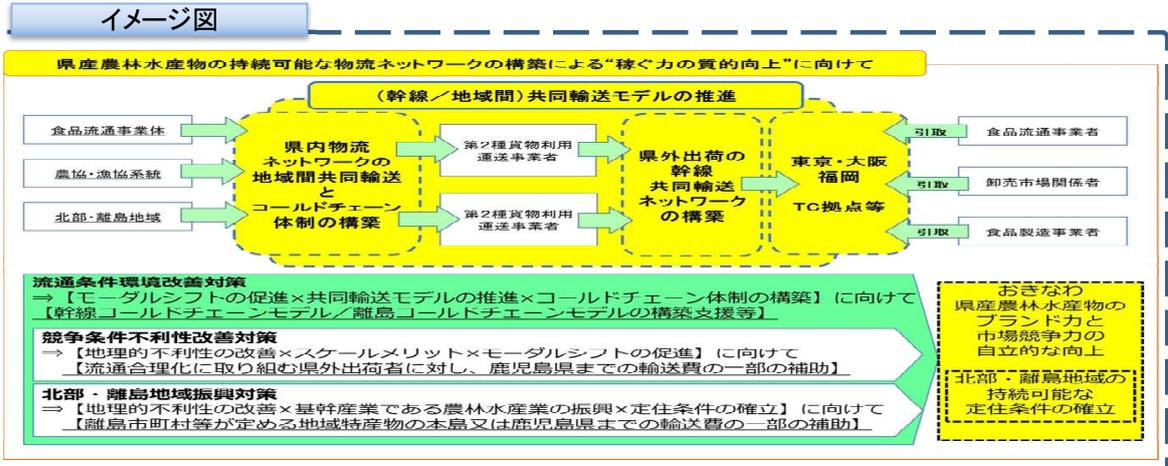
褒賞	生産者	性別	血統			出荷月齢	格付	枝肉重量	ロース芯	バラ厚	皮下脂肪	歩留基準	BMS	MUFA
			父	母の父	祖母の父									
最優秀賞	先島ファーム	雌	野喜久	隆之国	安福久	28	A5	520.0	74	9.3	2.5	76.5	12	57.4
優秀賞	(有)サンニ産業	去	美百合	福栄	北国7の8	30	A5	560.0	102	8.2	1.9	79.5	12	54.7
優良賞	シロウ牧場	去	美百合	安晴姫	北国7の8	32	A5	573.0	67	8.2	2.0	74.7	12	54.8
脂肪質賞	(有)南川牧場	去	諒太郎	菊花園	百合茂	29	A4	519.0	65	8.5	2.4	74.9	6	61.3



3 新たな事業展開

農林水産物流通条件不利性解消事業

沖縄県では、本県の地理的な条件不利性の改善を通して直近他県の産地との競争条件の平準化を図るとともに、北部・離島地域における基幹産業である農林水産業の持続的な維持増進を図るため、補助事業を実施しています。（沖縄振興特別推進交付金を活用）



① 競争条件不利性改善対策

農産物取引市場における他産地との価格形成に関する競争条件の平準化を図るため、鹿児島県までの輸送費相当額を補助する。

② 北部・離島地域振興対策

北部・離島市町村が定める地域特産物の域外出荷コストにかかる輸送費相当分を補助する。

③ 流通条件環境対策

モーダルシフトの促進、共同輸送モデルの推進及びコールドチェーン体制構築に向けた事業者や離島市町村の取組に対する総合的な補助等

令和4年度の輸送費補助実績は、沖縄県全体で出荷量55,187トン、補助額14億7,022万円、八重山地区では出荷量3,173トン、補助額2億775万円となっています。

令和4年度事業実績(出荷量及び補助額)

区分	八重山地区		沖縄県全体	
	出荷量(トン)	補助額(千円)	出荷量(トン)	補助額(千円)
野菜	392	25,054	10,771	455,179
花き	27	1,832	13,032	438,279
果樹	1,764	124,321	2,644	157,824
水産物	910	53,056	16,726	351,203
畜産物	39	2,086	11,626	57,041
その他	1	38	344	9,199
一次加工品	40	1,367	43	1,500
合計	3,173	207,754	55,187	1,470,225

補助対象品目

区分	対象区分	個別品目
野菜	青果物	さやいんげん、ゴーヤー、レタス、スイートコーン、ばれいしょ、さといも、オクラ、かぼちゃ、とうがん、すいか、メロン、ニンジン、ピーマン、島らっきょう、トマト、ミニトマト、きゅうり、キャベツ、モロヘイヤ、バジル、野菜パパイア、えだまめ、その他野菜類
		マンゴー、パパイヤ、中晩柑類(タンカン等)、パッションフルーツ、シークワーサー、パイナップル、アセローラ、びわ、アテモヤ、スターフルーツ、ドラゴンフルーツ、温州みかん、その他果樹類
その他の農産物等		かんしょ、薬用作物類、ハーブ類、その他の地域特産作物 リュウキュウマツ等県産材、特用林産物(きのこ類等)
花き	花き	輪ぎく、小ぎく、スプレーギク、洋ラン、トルゴギキョウ、ストレリチア、ヘリコニア、レッドジンジャー、ソリダコ、切り葉、観葉鉢物、球根切り花類、その他の花き類
畜産物	畜産物	牛肉類、豚肉類、鶏肉類、その他の畜産物
水産物	鮮魚等	エビ類(クルマエビ)、スギ、ハタ類(ヤイトハタ)、海ぶどう(クビレズタ)、アーサ(ヒトエグサ)、マグロ類、カジキ類、イカ類(ソデイカ)、カツオ類、その他の沖縄県内で水揚げされるモズク以外の水産物
	モズク	モズク

補助金交付における基本額(抜粋) 単位(円/KG)

輸送区間		個別品目の対象区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
発地	着地				
石垣島	県外	石垣島産	72	72	72
	沖縄本島		40	40	40
石垣島 周辺離島	県外	竹富島産	85	85	85
	沖縄本島	西表島産等	45	45	45
与那国島	県外	与那国島産	98	98	98
	沖縄本島		50	50	50

4 その他紹介

(1) 拠点産地認定品目

令和6年3月現在

作物	対象品目	認定市町村	認定年月日
野菜	オクラ	石垣市	平成18年10月17日
	カボチャ	竹富町	平成26年3月26日
花き	ヘリコニア	石垣市	平成19年6月21日
	ジンジャー類	石垣市	平成19年6月21日
果樹	パインアップル (生食用)	石垣市	平成19年8月10日
		竹富町	平成20年3月27日
肉用牛	肉用牛(子牛)	石垣市	平成20年9月24日
	肉用牛(肥育)	石垣市	平成20年9月24日
	肉用牛(子牛)	竹富町	令和2年2月13日
かんしょ	紅いも	石垣市	平成29年5月9日
薬用作物	ボタンボウフウ	与那国町	平成18年3月30日



(2) 沖縄県農地中間管理機構の概要について

I. 農地中間管理機構とは

○農地中間管理機構とは、農地の出し手と受け手(農業を担う者)の介在役として、受け手(農業を担う者)への農地集積・集約化に取り組む「信頼できる農地の中間的受け皿」として「農地中間管理事業」を行う機関です。

○沖縄県では、公益財団法人沖縄県農業振興公社が沖縄県知事より農地中間管理機構として指定を受け、平成26年4月1日より「農地中間管理事業」を実施しています。

II. 農地中間管理事業の概要

○農地中間管理事業とは、「地域計画」と一体的に推進し、認定農業者、認定新規就農者など地域の農業を担う者へ農地集積・集約化を図り、農地の有効利用や農業経営の効率化を進める事業として、以下のことを実施します。

- ① 出し手から農地を借受け、集約化して受け手(農業を担う者)へ貸付け
- ② 機構が預かっている農地の管理(最長で1年間)
- ③ 必要と判断される場合の農地の利用条件整備
- ④ 農地集積・集約のために必要とされる農地の売買

○農地を借り受ける期間については、原則として10年以上とします。ただし、これよりも短い期間とする特別な理由がある場合は協議により期間を決定します。

○受け手(農業を担う者)への農地の貸付けについては、借受希望農地のある市町村窓口等で受付を行っています。

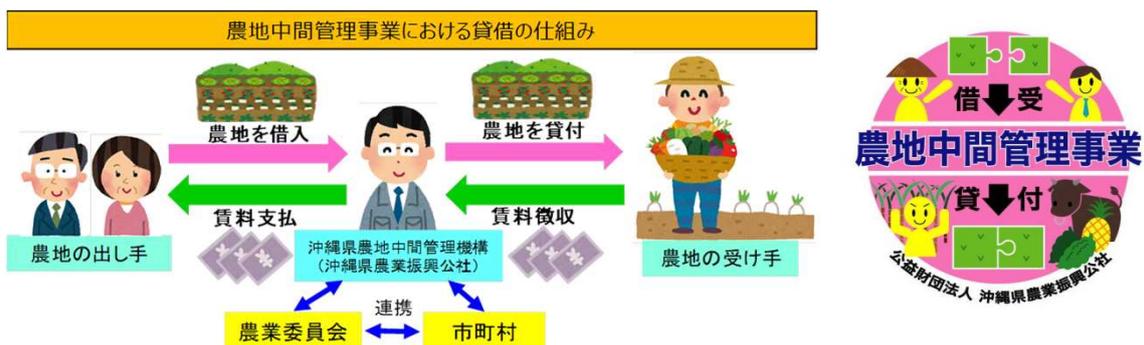
III. 農地中間管理事業を活用するメリット

【農地の出し手のメリット】

- ① 賃料の徴収・支払いは、農地中間管理機構が責任を持って行います。
- ② 農地借入れ契約期間の満了時には、農地所有者に確実に返ってきます。
- ③ 借入れた農地は、借り手が見つかるまで、最長で原則1年間管理し、その間の出し手への賃料は、機構が支払います。
- ④ 出し手が農地中間管理機構へ、農地を10年以上貸し付けるなど一定の要件を満たせば、賃借料とは別に「機構集積協力金」の交付を受けられる場合があります。

【農地の受け手(農業を担う者)のメリット】

- ① 農地を集積・集約化し、できるだけ、まとまった農地を受け手(農業を担う者)へ貸し付けるので、農業経営の効率化が図られます。
- ② 農地借入れ期間の満了時まで、安心して耕作することができます。
- ③ 機構は、出し手と受け手(農業を担う者)との仲介役として、複数の出し手との個別調整や事務手続き等を行うので、煩雑な手続きが解消されます。



(3) 国営土地改良事業「石垣島地区」

事業目的

本地区の基幹的農業水利施設は前歴事業等により整備されたが、事業完了以降、空港等の整備による農地面積の減少や受益地域への編入を希望する農家が存在するなど水需要に変化が生じている。

また、施設造成から相当の年月が推移しており、施設の性能低下が生じ、施設の適正な維持管理に多大な費用と労力を要している。このため、前歴事業の改修を行うとともに、新規受益を編入した既存水源（底原ダム・真栄里ダム・石垣ダム・名蔵ダム・大浦ダム）の総合運用による再編整備を行い、地域特性を生かした農業生産性の維持・向上を図り、農業経営の安定に資する。

概要

- ・事業名：国営かんがい排水事業
- ・地区名：石垣島地区
- ・関係市町村：沖縄県石垣市
- ・事業工期：平成26年度～令和10年度
- ・受益面積：4,338 ha
- ・主要工事：ダム(改修) 5ヶ所
頭首工(改修) 3ヶ所
揚水機場(改修・新設) 6ヶ所
用水路(新設) 50km
用水路(改修) 55km

①地区内の営農：栽培作物の多様化



日本一早い田植え
(超早場米:2月)



施設野菜：熱帯果樹の展開



石垣牛ブランドを支える
牧草地の拡大

②老朽化施設の改修：施設の維持管理にかかる負担軽減



③新たに石垣島・西部地域へ農業用水を供給：干ばつの解消、高収益作物



水源が無い
ため、干ばつ
時は散水車
による対策
等が行われて
きた。



農業用水供給後の営農変化への期待



さとうきびのスプリンクラー散水、施設野菜等の導入が容易になる

国営石垣島地区 事業概要イメージ図

できた みる ながみし ぼがすまかい ちゅ ちゅ ちゅ
 ~ 太陽め恵み 世界報水 我島美しや 結い心 ~



農業用水供給の営農
変化への期待



施設凡例	
	配水池
	揚水機場
	取水堰
	配水系水路
	送水系水路
	於茂登導水路

